

参院選挙結果と6月議会の報告をお届けいたしますので、お読みいただきご意見やご感想をお寄せください。

6月議会 一般質問



服部久子議員



苦しい生活、重い負担を反映して国民健康保険の滞納が増え、短期保険証の人や医者にかかれぬ無保険者が多くなっています。重大な問題は保険証が役場に留め置かれ、無保険状態の世帯があるため、速やかな保険証の交付を求めました。

子育て支援を進めるため、3月議会に引き続き、就学援助受給児童の眼鏡支援の実現を再度求めました。更に、保育料の値下げ、児童センターの臨時職員の超過勤務の改善、土砂災害防止の取り組みを求めました。

**国民健康保険証の未交付
解消と保険料の減免措置
の周知を**
▼保険証が交付できるよう努力する。
減免制度は周知する。

服部議員

短期保険証がありながら本人に未交付があると聞くと、その実態と町の対応は。

宮嶋総務課長

留め置いた期間と件数は、1ヶ月が33件、2ヶ月が24件で、徴収専門員が回り、納付の相談に応じ対応している。滞納世帯でも中学生以下には6ヶ月の保

険証を交付している。7月から、18歳まで拡大するよう国から通達が出ている。できるだけ滞納者と接触を図り、多少でも納入してもらい、保険証を交付できるよう努める。

服部議員

失業や非正規社員などで国保の対象になり、国保の申請をしないまま無保険状態になっている人の把握は。

片瀬住民課長

医療保険が一元化されていないので把握できない。国保加入は本人の申請が必要であることを広報で知らせる。

服部議員

町の試算では、所得200万円の3人家族での国保料は年28万円となり、負担が大きいの。国保法での減免申請はあるか。減免条項に該当する滞納者に申請できることを知らせるようすべきだ。

片瀬住民課長

減免の申請はない。4月から施行した非自発的失業者の減免は14件である。滞納者に減免制度を知らせる。

小中学校の就学援助受給者で眼鏡をかけられない児童に支援を
町保育料の引き下げを
▼眼鏡支援は実施困難
保育料の引き下げは
総合的に検討する。

服部議員

町は幼児期の9、10ヶ月と3歳児に眼科検診を行い、斜視と弱視などの治療対応を行っている。しかし、小中学校の就学援助受給者で眼鏡をかけられない児童、生徒への対応はされていない。早期治療が途中で途絶えると子ども将来に影響する。

給者への眼鏡支援を要求する。

中山教育課長

就学援助対象者で裸眼で0.7以下の児童は、池田小が7人で、4人がかけていない。会染小は該当者は7人で、6人がかけていない。高瀬中は該当者は10人で、5人がかけていない。

現在、眼鏡支援は国の就学援助の基準項目になく、近隣市町村でも実施していない。

服部議員

保育料の滞納件数は、20年度は前年の倍になっている。池田町の保育料は近隣の市町村と比べて約5千円高い。
3園で定員まで1000人の余裕があるので、保育料を引き下げて多くの園児が入れるよう求める。

片瀬住民課長

町の保育料は大町市と比較して約5千円高い。5千円引き下げると約1千万円の収入減となる。現在、園児は229人で、52人増えると1千万円増になる。最近5年間の子ども数は出生数より転入した子どもが36人増えている。これは、池田町の保育行政が他町村と比べて良いものと判断する。保育料引き

服部議員

下げは総合的に考え検討する。
児童センターの臨時職員は毎日定時で閉館できず超過勤務している。また、学校の長期休業時の開館時間も15分ほど早く開館している。1年間では超過勤務時間が膨大であるにもかかわらず賃金に反映されていない。臨時職員の善意に頼らない対策を求める。

中山教育課長・平林教育長

臨時職員の超過勤務は30分以上は1時間として計算し、30分以内は今後検討する。
学校の長期休業時の8時30分前児童受け入れにともなう臨時職員の超過勤務は様々な対応を検討する。

服部議員

県の土砂災害防止法で警戒区域に指定された地域の改善の具体策が示されていない。各地区から出された土砂災害の危険地の対策を県に強く要望して欲しい。

山崎建設水道課長

自治会からの要望は県へ要望しているが、国の予算枠があり、期限付きの働きかけは困難である。

参院選挙結果 消費税10% 国民はノー

共産党3議席 巻き返しへ態勢構築 消費税・くらし・米軍基地撤去 公約実現に全力

7月11日投票の参院選挙で民主党は大敗、与党は過半数を割り込みました。

「民主党敗北 消費税響く」(毎日・朝日新聞)のように最大の敗因は菅首相の「消費税10%」でした。

また、比例代表選挙では、主要政党はすべて得票をへらし、参院選初挑戦の「みんなの党」が票を伸ばしました。残念ながら日本共産党は1議席後退の3議席になり、池田町でも比例593票(前回704票)、選挙区809票(前回1146票)と、減票しました。

ご支持、ご協力をいただいた皆さんの期待に応えることができず、心からお詫びいたします。

最大の争点となった消費税10%反対をリードした共産党に、なぜ投票行動が結びつかなかったのか、党内はもろろん、皆さんからも率直なご意見をいただいで、自己検証を

おこなう決意です。

昨年の総選挙で国民は自公政権ノ一の審判を下し、今回は民主党政権に厳しい審判をつきつけました。

しかし、今回の結果は、国民が自民政権に戻ることを示したものではありません。それは、自民党政権に代わる次の政治をどうするか国民的な合意はまだ形成されていないからです。

私たちは、国民の合意で新しい政治への道が開けるよう力を尽くします。

その第一歩として、消費税増税を許さず、暮し応援の経済政策への転換、米軍普天間基地の無条件撤去など、公約の実現のため全力を尽くします。

今日の政治と社会の閉塞状況の根底には、「アメリカ・財界いいなり」の政治があります。この政治の歪みを正して、「国民が主人公の新しい日本への展望」を皆さんと

もに語り、国民的合意を目指します。捲土重来を期して態勢構築をはかり、どんな条件のもとでも選挙で前進・勝利できる党づくりにとりくみます。みなさんのご支援をお願い致します。

参議院長野選挙区 池田町の得票・得票率(%)

10 参議院	中野さなえ (共産) 809 (13.3)	北沢俊美 (民主) 1,496 (24.7)	高島陽子 (民主) 1,271 (21.0)	若林健太 (自民) 1,602 (26.4)	井出庸生 (みんな) 838 (13.8)
07 参議院	中野さなえ (共産) 1,146 (18.7)	羽田雄一郎 (民主) 3,019 (49.4)		吉田博美 (自民) 1,455 (23.8)	中川博司 (社民) 496 (8.1)

参議院比例代表 池田町の得票・得票率(%)

	10参院選	09衆院選	07参院選
日本共産党	593 (9.9)	875 (12.8)	704 (11.6)
民主党	2,195 (36.6)	3,095 (45.3)	2,402 (39.6)
自由民主党	1,164 (19.4)	1,420 (20.8)	1,286 (19.4)
公明党	589 (9.8)	595 (8.7)	630 (10.4)
みんなの党	729 (12.1)		

ご挨拶

中野さなえ

後援会・支持者のみなさん、共産党に期待を寄せていただいたみなさん、熱い選挙戦を通しての諸活動や暖かい激励、本当にありがとうございました。みなさんのおかげで、元気いっぱいいたたかことが出来、心から感謝いたします。

東京の小池晃さんを落とし、全国的にも票を減らす大変残念な結果になってしまいましたが、与党をここまで追い詰めたのは、大争点になった消費税増税、普天間基地移設問題などでの共産党の論戦無くしてあり得ませんでした。ここに、しっかりと確信を持ちたいと思います。

国民は苦難の中にいるのですから、私たちは気落ちしてはられません。総括をしつかり行い、また、草の根からの力を発揮して要求の実現のためにがんばっていく決意です。